

中区地域福祉保健計画

第1地区中部



目指すまちの姿

誰もが多文化共生する、
安全で健康なまち「いちなか」

- 曙町
- 伊勢佐木町
- 末広町
- 末吉町
- 羽衣町
- 福富町
- 蓬萊町
- 弥生町
- 吉田町
- 若葉町
- 長者町の一部



中区の商業の誕生地
イセザキモール



1:「えん結び」

顔が見える関係づくりを進めます

● ラジオ体操

こどもから高齢者まで気軽に参加でき、健康づくりはもちろん、地域のふれあいの場として実施します。

● 餅つき大会

町内会の恒例イベント「餅つき大会」! 杵と臼でぺったんぺったん、つきたてのお餅は格別のおいしさ。こどもから大人まで、みんなで楽しめる温かなイベントを継続します。

● お祭り

お三の宮日枝神社の例大祭や一六縁日など、伝統文化に触れ、地域交流を深めるお祭りを引き続き、実施していきます。

● サロンや「みんなで手話で歌おう」などの身近な場所での定期的な活動



学校の夏休みに開催「ラジオ体操」

2:「元気いっぱい」

歴史ある街で、だれもが、いきいきと、安心して暮らせる地域を目指します

● 音楽、体操、お薬の話など様々なテーマによる「みんな集まれ! 第一地区中部」の開催(年3回程度)

● 防災活動

いざという時のために、地域防災拠点の運営や、トイレの設置訓練など、具体的な備えに取り組みます。



これまでの計画(第4期計画)の振り返り

町内会、商店街、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員などが連携し、主に次の取組を行いました。

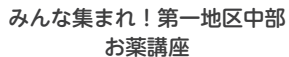
● 地域交流イベント「みんな集まれ! 第一地区中部」の開催

● 「ラジオ体操」の実施

学校の夏休み期間に開催。毎回100人を超える参加者が集まりました。

● 「みんなで手話で歌おう」などの身近な場所での定期的行事の開催



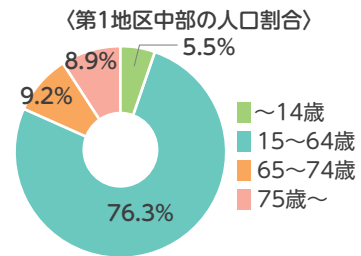


横浜開港以来、にぎわいの中心となってきたまち。お三の宮日枝神社の例大祭や歴史ある商店街のイベントなど、地域の魅力が息づいています。また、国際色豊かで、多様な文化が共存しています。

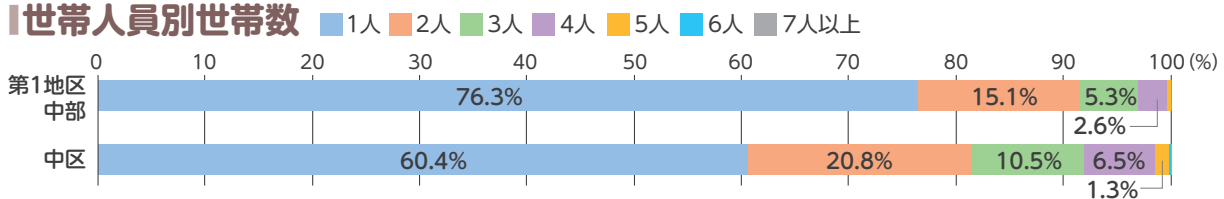
第1地区中部の統計データ

人口

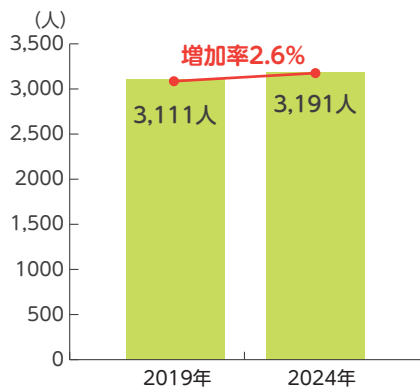
	合計	～14歳	15～64歳	65～74歳	75歳～
第1地区中部	14,124人	779人	10,781人	1,307人	1,257人
	100.0%	5.5%	76.3%	9.2%	8.9%
中区	155,313人	14,103人	104,356人	16,773人	20,081人
	100.0%	9.0%	67.1%	10.8%	12.9%



世帯人員別世帯数



地区内の外国人数の状況



出典: 中区外国人数基礎調査(令和6年度実施)

人口は15～64歳が約76%と区平均より高く、働き世代の単身世帯の多い地域です。

65歳以上の割合は区平均より低く推移していますが、65歳以上人口は増加しています。

外国人数はゆるやかに増えており、5人に1人以上が外国人になっています。国籍別では中国が5割以上となっており、次いで韓国、フィリピン、ベトナムと、10か国以上の人が暮らしています。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

第5期計画はこうに作りました

地区連合町内会長をはじめ、民生委員・児童委員、保健活動推進員、スポーツ推進委員、青少年指導員など、地域活動を牽引する委員の方々と、区社会福祉協議会、不老町地域ケアプラザ、区役所で話し合い、地域交流がより一層充実するための方策等を検討しました。

